

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
なす促成	人 2	なす促成		1. 単為結果性品種使用 2. 接ぎ木苗購入 3. 天敵利用体系 4. 防虫ネット使用 5. 自動換気装置利用 6. 統合環境制御装置利用	
		経営耕地面積	水田 20 畑 130		
経営目標		1 農業総収入	13,197 千円	4 1日当たり農業所得	6,988 円
		2 農業経営費	11,186 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,151 時間
		3 農業所得	2,011 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
建物・施設	ビニールハウス (ハウス本体工事、二重カーテン、換気扇、灌水チューブ、電気工事込み)	2	連棟補強 I 型(HK): 1000㎡	1	千円 24,474	14	千円 874
	重油タンク	1	1.9kL	1	239	7	17
	防油堤	1		1	172	25	7
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	計					32,447	
農機具	トラクター	1	20PS、140cm幅ロータリー装着	1	1,560	7	111
	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	184	7	13
	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	加温機	2	100,000kcal(40タイプ)	1	3,712	7	265
	循環扇	2	1セット/10a	1	455	7	32
	炭酸ガス発生装置	2		1	1,049	7	75
	自動換気装置	2	1000㎡用	1	1,971	7	141
	統合環境制御装置(長崎型)	2		1	1,338	7	96
計				11,870		919	

3. 技術体系(なす促成)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
バンカー植物管理	播種 防除 追肥	5月～11月		1	3	3	クレオメ	なす10aに対して クレオメを50株準備
(本ぼ) 耕うん整地	耕起 整地	8月中	トラクター	2	2	4	堆肥 2,000kg	深耕及び有機質の施用
土壌消毒		8月中		2	3	6	土壌消毒剤	土壌消毒は県病害虫病除基準による。
施肥	基肥施用 追肥施用	8月下 10月下～ 6月		2 1	2 16	4 16	石灰・磷酸質資材 140kg 10a当たり成分 N 61kg P ₂ O ₅ 75kg K ₂ O 26kg	Nの分肥割合 基肥 45% 追肥 55%
定植準備	耕耘 うね立て	8月下～ 9月上	トラクター 管理機	2	3	6	鍬	栽植密度 うね幅 2m×株間 65cm 10a当り 770株
定植		9月上～中		2	3	6	コンテナ 1輪車	JA育苗センターで薬剤を灌注済みの苗 一番花開花直前、浅植えする。 ※一緒に天敵温存植物(クレオメ)を50株/10a定植する
かん水施設設置		9月上～中		2	3	6	かん水チューブ他	
天敵放飼 市販天敵	スワルスキー カブリダニ	9月下		1	1	1	スワルスキーカブリダニ放飼 (10a当たり100パック)	定植後2～3日後
支柱立て		9月下		2	8	16	支柱 エスター線	
天敵放飼 土着天敵	タバコカスミカメ	9月末～ 10月中		1	2	2	200頭/袋を10袋/10a	スワルスキー放飼の7～10日後

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
誘引 芽かぎ 摘葉		9月下～ 5月下		2	180	360	エスター線 誘引ひも ハサミ	3～4本仕立てとする。 側枝は花の上位葉1枚残して摘除する。
ビニール被覆	ビニール張り	10月		3	8	24	ビニール式 防虫ネット	
	2重カーテン 設置	10月～ 11月		3	4	12	内カーテン	
マルチ下ろし		10月～ 11月		2	4	8		マルチ被覆は10月末までは、うね 肩まで上げておく。
温度管理	保温換気	10月中～ 5月	加温機 循環扇 自動換気装 置 炭酸ガス発生 装置 統合環境制 御装置	1	4	4		厳寒期の保温対策の実施(2重 カーテン) 昼間27～30℃、夜間12℃以上で 管理する。
かん水		9月～6月		1	39	39	かん水チューブ	
病虫害防除	薬剤散布 耕種的防除	9月～6月	動力噴霧機	2	12	24		県病虫害防除基準による適正防 除。
収穫		10月下～ 6月	トラック	3	188	564	ハサミ 収穫台車 コンテナ	果実を大きくすると樹勢が弱るの で早どりする。
出荷		10月下～ 6月	トラック	1	26	26		共同選果施設を利用。
後かたづけ	ほ場環境浄 化	7月	トラック	2	10	20		
計						1151		

4. 品目の作付体系(△定植、○ハウス被覆、□収穫)

なす促成	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
									□			
									△			

5. 作業別・月別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
ハンカー植物管理							1																											3							
定植準備																																		20							
定植																																		6							
かん水施設設置																																		6							
天敵放飼																																		3							
かん水	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	39								
支柱・整枝・誘引	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	376								
マルチ下ろし																																	8								
ビニール被覆																																		36							
温度管理																																		4							
追肥	2																																16								
病害虫防除	2	2																															24								
収穫	20	20	20	24	24	24	24	26	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	20	9											564									
出荷	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26									
後かたづけ																																	20								
計	38	38	38	44	40	44	40	40	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	23	11	0	10	10	10	7	6	13	19	16	29	33	38	27	31	27	30	38	34	1151
月計	114			122				132				145			147			112			21			23			48			100			85			102					

6. 総労働時間

総労働時間	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			計					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
総労働時間	76	76	76	88	80	80	80	92	92	92	92	104	94	96	104	94	94	84	46	22	0	20	20	14	12	26	38	32	58	66	76	54	62	54	60	76	68	2302				
うち家族労働	76	76	76	88	80	80	80	92	92	92	94	94	94	96	104	94	94	84	46	22	0	20	20	14	12	26	38	32	58	66	76	54	62	54	60	76	68	2302				
うち雇用労働																																										0